



P R E S S R E L E A S E

* 本リリースは 2015 年 4 月 27 日 (現地時間) に、英国と日本で同時に発表したプレスリリースを翻訳したものです。

2015 年 4 月 28 日

PC を起動することなく精細印刷: HP 社のレーザージェットプリンタが CSR の DirectOffice® を採用

～USB ドライブ、各種モバイル機器、クラウドから直接、プリンタでの
Microsoft Office 文書の高品位印刷を可能にする CSR DirectOffice～

CSR plc (ロンドン証券取引所 略号: CSR、NASDAQ 略号: CSRE、以下「CSR」) は本日、文書データから直接プリンタでの描画・印刷を実現する同社のダイレクト・レンダリングソフトウェア CSR DirectOffice® が HP 社のカラーレーザージェットプリンタ Color LaserJet Pro MFP M277 シリーズおよび HP Color LaserJet Pro M252 シリーズに採用されたことを発表しました。これによって USB ドライブから直接、文書を印刷できるようになります。

CSR のビジネス・グループ担当シニアバイスプレジデントであるアンソニー・マレーは、次のように述べています。「IoT 時代が到来し、いつでもすぐその場で様々なデジタル機器を自由に利用できる環境が期待され、また多くの文書がオフィス以外の多様な場所に保管されていることで、オフィスのデスクや PC のある場所を離れて仕事をするビジネスユーザーが増えています。CSR の DirectOffice ソフトウェアは、プリンタが Microsoft Office 文書をレンダリングできるようにすることで、PC が使えない時でも Office 文書を印刷できるようになります。業界大手の HP 社は CSR の DirectOffice ソフトウェアを搭載し、エンドユーザーが USB ドライブにつなぐだけで、いつでもそのまま印刷できるプリンタの提供を開始します」

CSR DirectOffice ソフトウェアは、各種のプリンタや複合機 (MFP) で Microsoft Office 文書を直接変換して高品位出力できるようにします。また、CSR DirectOffice ソフトウェアを組み込めば、Microsoft Office の Word や PowerPoint、Excel 等の文書を USB ドライブから直接印刷できるようになるだけでなく、スマートフォン等各種のモバイル機器や Web、企業のオンプレミスサーバやクラウドストレージサービス等から直接文書を表示したり印刷することも可能になり、印刷だけのためにわざわざ PC を開けファイルを表示させる必要がなくなります。

CSR DirectOffice には精緻なレイアウトエンジンと CSR が特許を取得した画期的なフォントソリューションが内蔵されており、この 2 つの組み合わせによって元の文書にきわめて忠実に Microsoft Office 文書を出力します。DirectOfficeバージョン 3 は本日より、OEM メーカー向けに評価版およびライセンス版の提供を開始します。

###

* 本リリースは 2015 年4月 27 日(現地時間)に、英国と日本で同時に発表したプレスリリースを翻訳したものです。原文は、<http://www.csr.com/news/pr/2015/printing-unchained-pc-csr-directoffice-be-deployed-select-hp-laserjet-printers> をご参照下さい。

関連リソース (英文)

* CSR DirectOffice® プリンタ・複合機向け組み込みソフトウェアの詳細(スペック・プリントイメージ等)
<http://csr.com/products/directoffice-embedded-print>

* CSR DirectOffice を使ったプリントイメージ画像
http://csr.com/sites/default/files/ms_do_files_2014.jpg

*CSR の文書・画像処理ソリューション詳細資料へのトップページ
<http://csr.com/products/markets/document-imaging>

CSRについて:

CSRは、お客様が世界中のエレクトロニクス市場で成功をおさめるための様々な課題を解決し、変革の核となる技術を提供するため、妥協のない技術革新を進めています(push every boundary™)。ボイス&ミュージック、ドキュメント・イメージング、車載インフォテインメント、Bluetooth®Smart、屋内測位システム等の分野を中心に高性能な半導体、ソフトウェア、サービスの開発と、半導体チップへの集積を進めることで、人々のライフスタイルをより快適なものにし、途切れのないスムーズな接続とInternet of Thingsのもたらす真の恩恵を皆様にお届けします。詳細については、<http://www.csr.com/japan/> をご覧ください。また、最新の情報は、[テクニカル・ブログ](#)、[担当者ブログ](#)、[YouTube](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)でも発信しています。CSRの無線オーディオ・コーデックであるaptX®の詳細については、<http://www.aptx.com/ja> をご覧ください。

将来予想に関する記述

本プレスリリースには、CSRのDirectOffice®並びにそれらが各種電機製品等に搭載(DirectOfficeを搭載したHPのカラーレーザージェットProプリンタを含む)された場合に発揮される性能、ならびにその他の将来発生しうる事象、またはそれらがCSRに及ぼす潜在的影響について、過去の事実以外の情報であって、かつ米国の1995年民事証券訴訟改革法(United States Private Securities Litigation Reform Act of 1995)において「将来予想に関する記述(forward looking statements)」との解釈が成り立ちうる声明(将来の事業または業績に関する経営陣の計画及び目標に関する所信表明、またはそれらに関する仮定を含む)を含んでいます。これらの予想に関する記述は、上記につき各々「予定である」、「提供できる」、「提供する」、「可能にする」、「強化する」、「実現する」、「設計されている」、あるいはそれらに類似した表現で特定できます。CSRのDirectOffice並びにこれらの技術を搭載した電機製品、周辺機器の性能、機能、または特徴の変更・向上等に際して将来発せられる一連の発表は、そのいずれもがCSRおよびその顧客の継続的評価の対象に服すものであり、実現されるか否かは不確実であり、かつCSRまたはその顧客の確約と見なすことはできず、証券購入の判断に利用するべきではありません。かかる予想に関する記述は、CSRの経営陣の現時点での予想と見解を示すもので、CSRの事業戦略とCSRが事業を行う環境に関与する多数の仮定の上に成り立っているため、未知または既知のリスク、偶発性、不確実性、およびその他要因が複雑に関連し、その多くはCSRによる管理の及ぶ範囲を超える事項に属します。これらの要因の一部は、SECのWebサイト(<http://www.sec.gov>)で公開されているCSRの定期レポート(「Risk Factors(リスク要因)」または「Forward Looking Statements(将来予想に関する記述)」という見出しの下、またはその他の箇所)で詳述されていますが、それらに限定されません。予想に関する各記述は、その日付の時点での記述です。法に定めのある場合を除き、CSRは、ここに記載されている予想に関する記述について更新または改訂があった場合でも、公式にリリースする責任を負いません。

*Bluetooth®およびBluetoothロゴは、Bluetooth SIGが所有する商標であり、CSRにライセンスされています。

*Wi-Fi®, Wi-Fi Alliance®, WMM®, Wi-Fi Protected Access®, WPA®, WPA2®, Wi-Fi Protected Setup™ 及び Wi-Fi Multimedia™ はWi-Fi Allianceの登録商標です。

*本文書に記載されているその他の製品、サービス、名称は、該当するそれぞれの所有者の商標である場合があります。

<報道関係お問い合わせ先>

広報代行 株式会社プラップジャパン 谷本

電話:03-4570-3191 E-mail: csr_pr@ml.prap.co.jp

<お客様、ユーザー様お問い合わせ先>

シーエスアール株式会社

深田 学

電話:03-6403-7100 Email: prjp@csr.com
